

会津本郷焼 陶芸体験メニュー

てびねり・絵付け・ロクロ体験、会津本郷焼窯元の作り手が、お客様に丁寧に指導いたします。
 この機会に、世界に1つのマイ器づくりにチャレンジしてみたいですか！
 (カップ、皿、お好みの器・絵、赤ペコetc)

☆会津本郷焼の歴史☆

会津本郷焼は、四百年の伝統を誇る東北最古の焼き物です。起こりは、文禄二年（1593年）に城主蒲生氏郷が会津領主となってからで、若松城の大改修を行うに当たって、城郭の屋根を瓦葺きとするため播磨国（兵庫）から瓦工を招き、黒瓦を製造したのが始まりとされています。その後、正保二年（1645年）会津松平藩祖保科正之が長沼から陶工を招き抱え、水野源左衛門が赤瓦を焼き出しました。生産は藩の支援を受けて発展し、寛政十二年（1800年）には白磁の製法も開発されました。現在もまちなかには、瀬戸屋土蔵が点在し、職人が明かりを取るために設計された、床と同じ高さにある窓が、特徴とされています。

陶芸体験 当日受付可能窯元の紹介

	【閑山窯】 かんざんがま	【樹ノ音工房】 きのおとこうぼう	【酔月窯】 すいげつがま	【陶房彩里】 とうぼういろり	【流紋焼】 りゅうもんやき
P					
R					
体験メニュー	会津本郷焼で一番古い老舗窯元 青磁がメインで白磁、炭化もごさいます。 地下工房も魅力	若いご夫婦が営むおしゃれな窯元 やさしい色あいとかわいい絵が魅力 6色の釉薬から色を選べます。	老舗窯元、オリジナルの呉須と 釉薬で素敵な作品を作ってみては！ 手びねりの作品に絵付けも可能	一番新しく若いご夫婦で営む窯元 かわいらしい作品が多く、しかも軽量 赤ペコの絵も魅力	会津本郷焼で1番大きな窯元 製造工程の無料見学可能 伝統の釉薬が流れる模様の特徴
問合せ	○てびねり 2,000円 ○ろくろ 2,500円 電話：0242-56-2178 http://www.hongoyaki.or.jp/	○てびねり 1,000~2,000円 ○絵付け 800円 ○ろくろ 1,000~2,000円 電話：0242-56-5098 F A X：0242-56-2953 http://www.kinotoo.com/	○てびねり 1,050~2,100円 ○絵付け 630円~ 電話：0242-56-3103 F A X：0242-56-3146 http://suigetugama.hp.infoseek.co.jp/	○てびねり 1,000円 ○絵付け 800~1,300円 ○ろくろ 1,500円 電話：0242-56-5707 FAX:兼用 http://www.hongoyaki.or.jp/	○てびねり 1,050~2,100円 ○絵付け 630~998円 ○ろくろ 2,625円 電話：0242-56-2221 F A X：0242-56-2223 http://ryuumon.co.jp/

予約が必要な窯元のご案内（手びねり・絵付け）

市外局番：0242-番

【雅千堂】がせんどう 56-3804 特徴 青磁が主体 ○てびねり体験 ○絵付け体験	【草春窯】そうしゅんがま 56-3732 特徴 白磁を基本とし、呉須の染付け 赤絵の文様、面取り等が特徴 ○てびねり体験 ○絵付け体験	【富三窯】とみぞうがま 56-3033 特徴 磁器の伝統技術・技法を 代々継承している ○てびねり体験	【かやの窯】かやのがま 56-2855 特徴 土灰・わら灰などを用いる古からの手法。見学のみとなります。
【玉山窯】ぎょくざんがま 56-3021 特徴 鉄釉、灰釉が主体 ○てびねり体験	【カ 窯】ちからがま 56-3228 特徴 エメラルドグリーン釉、 山水の絵付けが特徴 ○てびねり体験 ○絵付け体験	【鳳山窯】ほうざんがま 56-2851 特徴 伝統技法を生かしたてづくり【錦宝窯】きんぼうがま 56-3948 手描きの温もりがある作品 ○てびねり体験 ○絵付け体験	【宗像窯】むなかたがま 56-2174 特徴 東北最古の登り窯やしん鉢 でも知られる。用の美を追求 ○てびねり体験
【小松窯】こまつがま 56-2325 特徴 生活器が主体 質の高い体験指導を行います ○てびねり体験 ○絵付け体験	【陶雅陶楽】とうがとうらく 56-5115 特徴 鉛釉や灰釉を用いた器や食器 裂流線文の器も魅力 ○てびねり体験	特徴 花鳥、山水などの絵付けが特徴 見学のみとなります。	

【会津本郷焼資料展示室】



陶磁器約100点を展示
 インフォメーションセンター2F

電話：0242-56-4637
<http://www.aizu-misato.jp/>